



あぶらもしょうてん

9 油茂商店

江戸時代からの菜種油屋で、明治末期からは味噌たまりの醸造も始め、昭和10年(1935)頃からは酒屋も営業しました。建物は切妻瓦葺2階建、白い漆喰壁の塗屋造りの重厚な店構えで近世末期の町家建築です。



じゅんけんみち

10 巡見道

巡見道は江戸時代、將軍の名代が村々を見回った道のことです。金物店の角から東へ八事通を越えて接骨院の角までが下街道と重なっています。北は市役所の前を六軒屋町方面へ、南は熊野町(密蔵院付近)へ続きます。



てんのう じょうやとうとりまつ

11 お天王さま / 常夜灯 (鳥居松)

堂には天王社、熱田社、秋葉社がまつられており、秋葉山文久2年(1862)と津島神社明治41年(1908)の刻字がある2基の常夜灯があります。堂は下原新田の集会所として使われていました。



つたや

12 蕨屋

江戸時代から酢の醸造や製油を扱う商家で、大正時代には酒・米・麦・肥料などを主に販売しました。建物は土蔵を改修した切妻瓦葺2階建の塗屋造りで、2階の窓は格子を塗り込めた「むしこ窓」になっています。

- 6 尾張広域緑道 徒歩7分
- 7 名古屋市上水道 徒歩2分
- 8 庚申堂と桂林寺 徒歩5分
- 9 慈眼寺 徒歩13分
- 9 油茂商店 徒歩1分
- 10 巡見道 徒歩1分
- 11 美玉美 / 常夜灯 (鳥居松) 徒歩1分
- 12 蕨屋 徒歩2分
- 13 春日井市立郷土館 徒歩2分
- 14 観音堂 (鳥居松) 徒歩12分

中央本線 春日井駅

所要時間 約1時間30分

距離 約7.1 km



めいじてんのうじゅんこう かすがい  
明治天皇巡幸と春日井

明治天皇が明治13年(1880)6月、京都巡幸の途上、下街道を通られ、30日には内津の長谷川定七家の離れ「沈流台」で小休憩、坂下の萬壽寺で昼食、鳥居松の飯田重蔵家の離れ(現在の郷土館)で小休憩されました。それぞれの場所に石の標柱が建てられており、昭和33年(1958)に市の史跡に指定されています。



かすがいしりつきょうどかん

13 春日井市立郷土館

酒造業飯田家の離れで、江戸時代末期に建てられました。中庭に市内にあった道標や横井世有の句碑があります。昭和48年(1973)に郷土館として開館しました。毎月第3土曜日9~12時に公開しています。\*建物内立入不可



かんのんどう とりまつ

14 観音堂 (鳥居松)

堂内に大正13年(1924)馬車組合が建立した馬頭観音や33体の仏を浮き彫りにした石碑があり、両側に8体の石仏がまつられています。敷地内には飯田重蔵(初代と二代)の石碑2基と下街道の案内板があります。



あきばしゃ

15 秋葉社

犬山城主成瀬氏の家臣木村家に伝わる三尺坊大権現をまつる秋葉神社です。2本あった樹齢300年ほどの大杉が第2次世界大戦中に軍用船向けに切られた時、根株の空洞に蛇が棲んでいたので龍神としてまつったそうです。



だいじんじかんいすいどうすいげんいあと

16 大泉寺簡易水道水源井跡

「大泉寺簡易水道水源井跡」と彫られた石柱が立っています。昭和32年(1957)から昭和57年(1982)まで、この地域の住民に大切な水を供給した歴史を知ることができます。